

# **16/11期 第2四半期決算 および 今後の事業展開に関する説明**

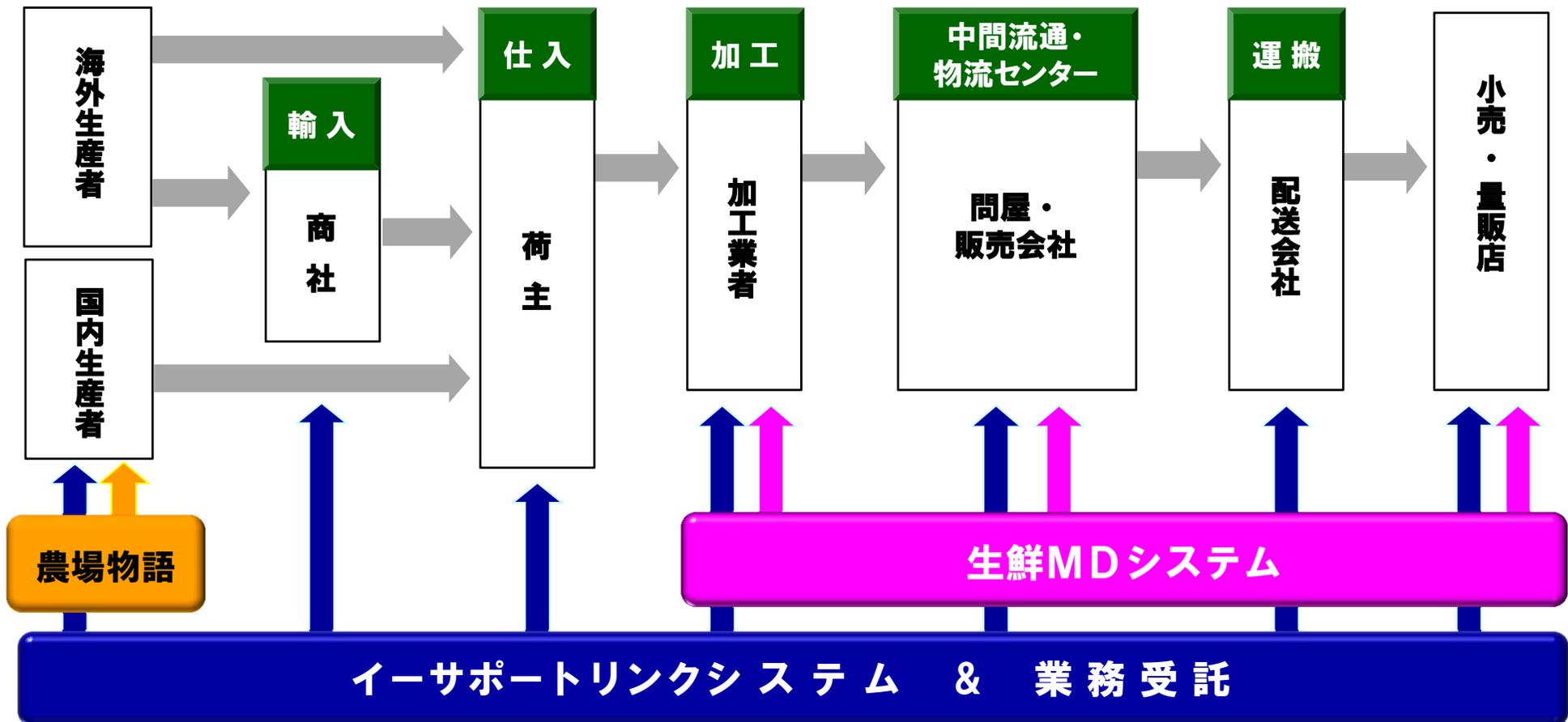
～農業を取り巻く環境変化への対応に向けて～

2016年 7月 21日（木）

経営理念

# 全ては生産者と生活者のために

■ 生鮮流通に携わるすべての人達をシステムと業務受託でサポート



→ 生鮮流通ルート

※ この図解はあくまでイメージ図で、全ての取り引きがこの限りではありません。

# ■ 16/11期 第2四半期決算概要

(単位:百万円、%)

	15/11上期 実績	16/11上期 実績	前期比	16/11上期 計画	計画達成率
売上高	2,254	2,243	99.5%	2,221	101.0%
営業利益	331	269	81.3%	82	325.0%
経常利益	351	263	74.9%	81	325.4%
四半期純利益	173	146	84.6%	30	487.3%

※ 百万円未満切捨てで表記

## ■ 売上高

- ・ 生鮮MDシステムはデータ件数が増加し、引き続き増収となった
- ・ 主要顧客向け業務量が減少し、前期は下回ったものの、計画値は上回った

## ■ 利益

- ・ イーサポートリンクシステムVer. 2のチューニング費用の増加により前期を下回った
- ・ ソフトウェア償却費が未発生となったこと等により、計画値を上回った

# 損益計算書／包括利益計算書

(単位:百万円、%)

科目	15/11期上期	16/11期上期		
	金額	金額	増減額	前期比
売上高	2,254	2,243	▲ 11	99.5%
売上原価	1,021	1,076	55	105.4%
売上総利益	1,233	1,166	▲ 67	94.6%
販売費及び一般管理費	901	896	▲ 5	99.4%
営業利益	331	269	▲ 61	81.3%
営業外損益	20	▲ 6	▲ 26	▲ 29.9%
経常利益	351	263	▲ 88	74.9%
特別損益	▲ 1	0	0	52.2%
税引前当期純利益	350	263	▲ 87	75.0%
法人税等	177	116	▲ 60	65.7%
四半期純利益	173	146	▲ 26	84.6%
その他の包括利益	7	▲ 1	▲ 8	▲ 15.9%
四半期包括利益	180	145	▲ 34	80.6%
※百万円未満切り捨て表記				
1株当たり四半期期純利益	39.13円	33.10円	▲ 6.03	

< 主な要因 >

イーサポートリンクシステムVer.2稼働にむけた外注費の増加

# セグメント別売上高／営業利益

(単位:百万円、%)

	15/11期上期	16/11期上期		
	金額	金額	増減額	前期比
<b>売上高</b>	2,254	<b>2,243</b>	<b>▲ 11</b>	99.5%
システム事業	1,208	<b>1,242</b>	<b>33</b>	102.8%
業務受託事業	926	<b>875</b>	<b>▲ 51</b>	94.5%
農産物販売事業	131	<b>141</b>	9	107.0%
内部売上高	<b>▲ 12</b>	<b>▲ 15</b>	<b>▲ 3</b>	129.4%
<b>売上原価、販管費</b>	1,922	<b>1,973</b>	50	102.6%
システム事業	670	<b>642</b>	<b>▲ 27</b>	95.8%
業務受託事業	575	<b>585</b>	10	101.7%
農産物販売事業	130	<b>124</b>	<b>▲ 5</b>	95.6%
全社消去	546	<b>620</b>	74	113.5%
<b>営業利益</b>	331	<b>269</b>	<b>▲ 61</b>	81.3%
システム事業	538	<b>600</b>	61	111.5%
業務受託事業	350	<b>289</b>	<b>▲ 61</b>	82.6%
農産物販売事業	1	<b>16</b>	14	956.7%
全社消去	<b>▲ 559</b>	<b>▲ 636</b>	<b>▲ 77</b>	113.9%

< 主な要因 >

生鮮MDシステムの  
データ件数が増加

主要顧客向け業務量が減少

※百万円未満切捨て表記

# 貸借対照表

(単位:百万円、%)

	15/11期末金額	16/11上期金額	増減額	比率(%)
【流動資産】	3,199	2,982	▲ 217	93.2%
【固定資産】	2,349	2,335	▲ 13	99.4%
有形固定資産	568	523	▲ 45	92.1%
無形固定資産	1,354	1,398	44	103.3%
投資その他の資産	425	412	▲ 13	96.9%
【繰延資産】	2	2	0	79.0%
<b>資産合計</b>	<b>5,551</b>	<b>5,319</b>	<b>▲ 231</b>	<b>95.8%</b>
【流動負債】	1,117	866	▲ 250	77.6%
【固定負債】	929	803	▲ 126	86.4%
<b>負債合計</b>	<b>2,046</b>	<b>1,670</b>	<b>▲ 376</b>	<b>81.6%</b>
【株主資本】	3,524	3,670	146	104.2%
資本金	2,721	2,721	0	100.0%
資本剰余金	620	620	0	100.0%
利益剰余金	182	329	146	180.2%
自己株式	0	0	0	100.0%
その他	▲ 20	▲ 21	▲ 1	105.6%
<b>純資産合計</b>	<b>3,504</b>	<b>3,649</b>	<b>145</b>	<b>104.1%</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,551</b>	<b>5,319</b>	<b>▲ 231</b>	<b>95.8%</b>

< 主な要因 >

ソフトウェア資産の増加

借入金の減少

(単位:百万円)

	15/11期上期	16/11期上期		
	金額	金額	増減額	比率(%)
営業活動によるキャッシュフロー	81	252	171	310.0%
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 126	▲ 81	44	64.6%
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 175	▲ 252	▲ 76	143.5%
現金及び預金同等物の増減額	▲ 220	▲ 81	139	36.7%
現金及び預金同等物の期首残高	2,511	2,509	▲ 1	99.9%
現金及び預金同等物の期末残高	2,290	2,428	138	106.0%

※百万円未満切捨て表記

# ● 16/11期 業績見通し

- ・ 生鮮MDシステムのデータ量増加と新たな顧客の獲得で、売上拡大を見込む
- ・ イーサポートリンクシステムVer.2 の稼働予定に伴い、償却費・保守費の増加により、利益は減少を見込む
- ・ 中長期的な成長にむけた新サービスの開発を積極的に推進
- ・ 農業を取り巻く環境が激変しており、不透明であるため、通期計画は修正しない

(単位:百万円、%)

	13/11期 実績	14/11期 実績	15/11期 実績	16/11期 計画	前期対比
売上高	4,225	4,437	4,536	4,571	100.8%
営業利益	526	690	560	322	57.5%
経常利益	517	693	595	369	62.1%
当期純利益	316	334	407	245	60.2%
1株当たり当期純利益	71.46円	75.64円	92.20円	55.49円	60.2%

※百万円未満切捨て表記

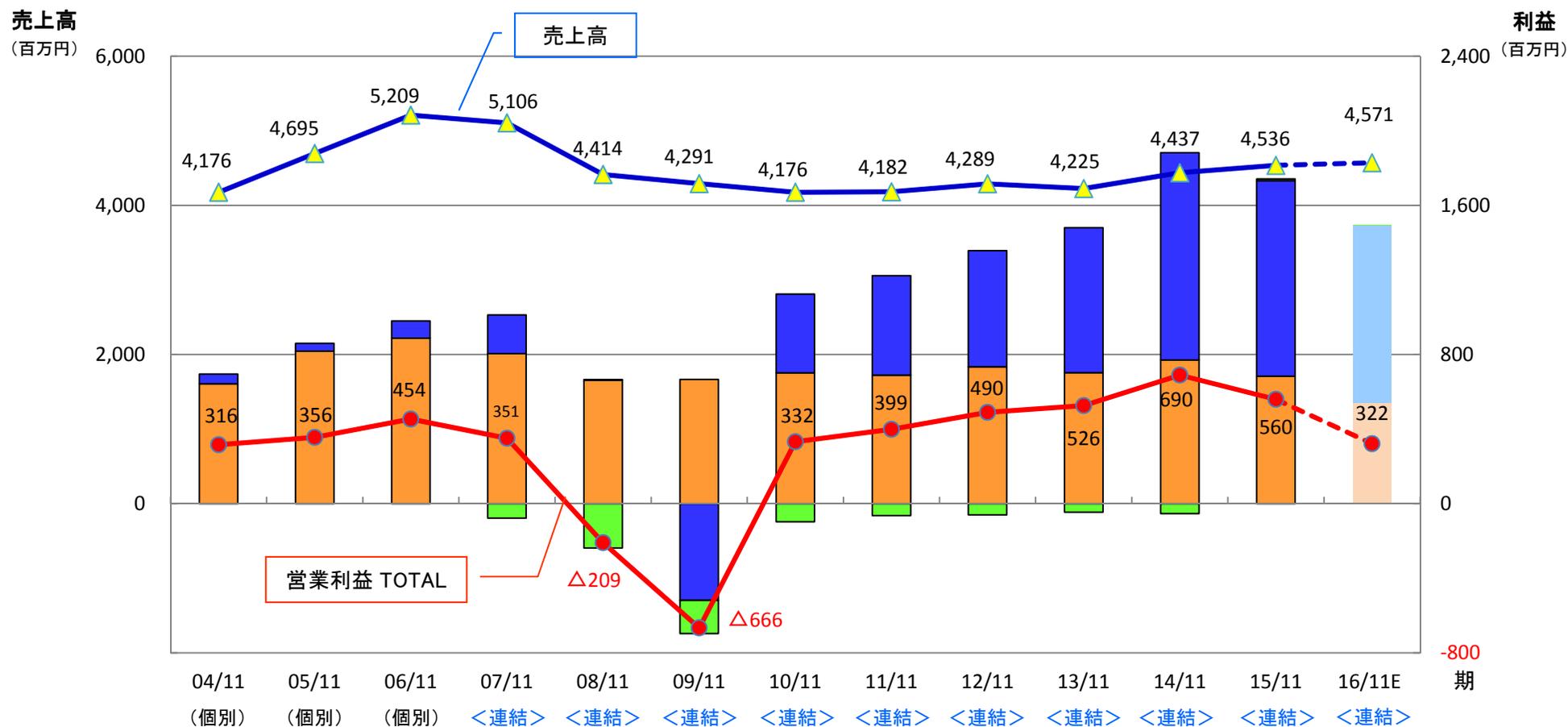
- システム事業 : 生鮮MDシステムの導入拡大から、売上増加を見込む
- 業務受託事業 : サービスレベルおよび生産性の向上に取り組み、業務受託範囲の拡大を目指す
- 農産物販売事業 : 生産者との関係性強化と販売力の強化により、収益性の向上に努める

(単位:百万円、%)

	13/11期 実績	14/11期 実績	15/11期 実績	16/11期 計画	前期対比
売上高	4,225	4,437	4,536	4,571	100.8%
システム事業 売上比	2,188 51.8%	2,390 53.9%	2,501 55.1%	2,619 57.3%	104.7%
業務受託事業 売上比	1,928 45.6%	1,912 43.1%	1,859 41.0%	1,744 38.2%	93.8%
農産物販売事業 売上比	143 3.4%	174 3.9%	229 5.0%	261 5.7%	114.2%
* 相殺消去分 売上比 (連結による相殺)	△34 △0.8%	△39 △0.9%	△53 △1.2%	△54 △1.2%	—

※百万円未満切捨て表記

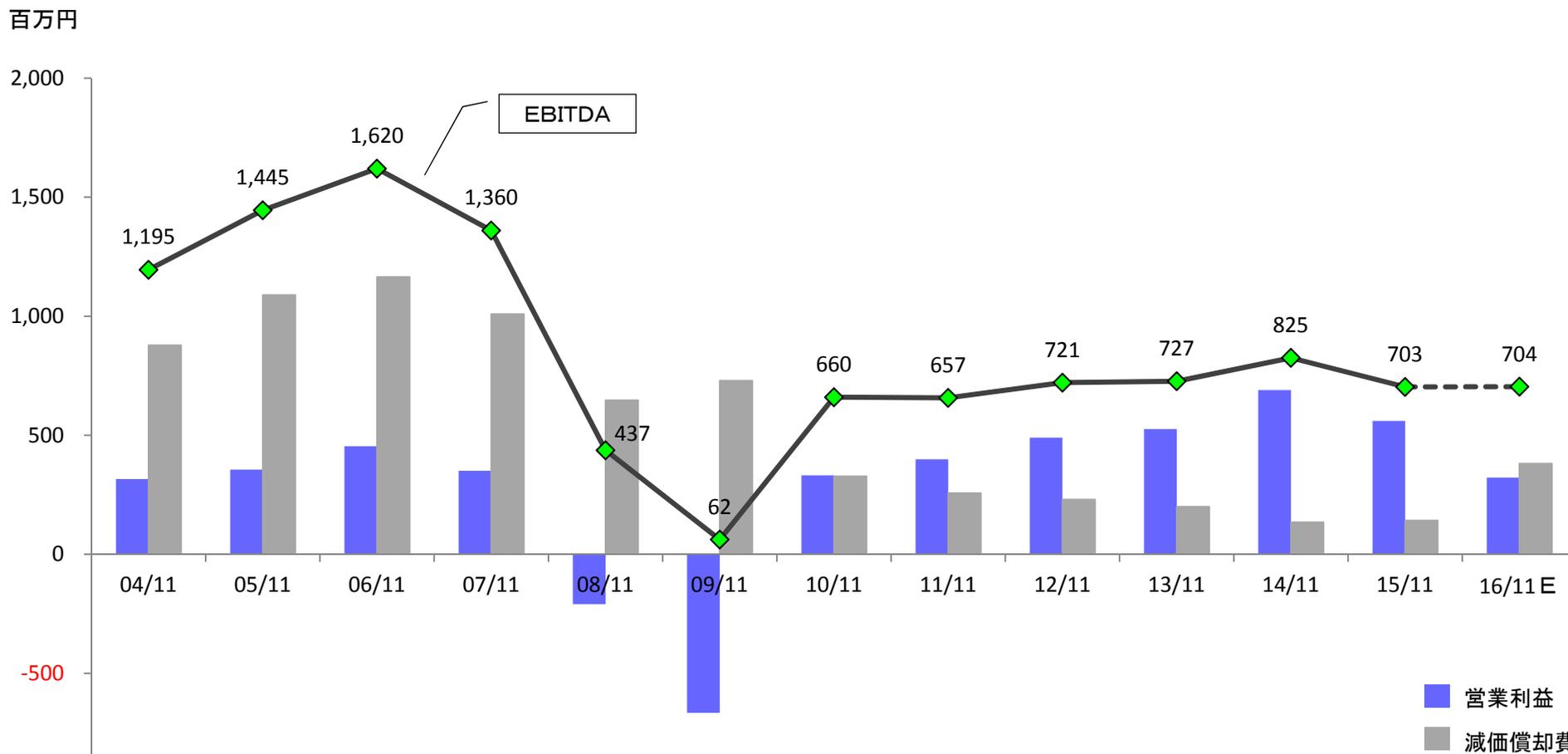
16/11期は、イーサポートリンクシステムver. 2の稼働に向けた調整を実施



		04/11	05/11	06/11	07/11	08/11	09/11	10/11	11/11	12/11	13/11	14/11	15/11	16/11E
システム事業	売上高	1,753	2,034	2,294	2,304	2,001	2,056	2,086	2,085	2,187	2,188	2,390	2,501	2,619
	営業利益	52	42	92	207	4	△ 518	422	533	623	777	1,111	1,049	951
業務受託事業	売上高	2,422	2,660	2,915	2,760	2,366	2,098	1,944	1,961	2,005	1,928	1,912	1,859	1,744
	営業利益	643	818	888	805	662	667	702	690	734	703	771	684	542
農産物販売事業	売上高	—	—	—	41	52	148	164	165	135	143	174	229	261
	営業利益	—	—	—	△ 77	△ 237	△ 178	△ 97	△ 63	△ 60	△ 45	△ 53	9	1
相殺消去	売上高	—	—	—	—	△ 6	△ 12	△ 19	△ 29	△ 39	△ 34	△ 39	△ 53	△ 54
	営業利益	△ 379	△ 504	△ 526	△ 583	△ 639	△ 636	△ 694	△ 760	△ 806	△ 909	△ 1,138	△ 1,182	△ 1,172

\* 百万円未満は切捨て表記

# (参考) EBITDA 推移



## <主なソフトウェア投資内容>

イーサポート  
リンク  
システム

稼動開始  
→ 償却発生

初期構築費用:  
償却終了

Ver.2 稼動開始  
投資開始

サブシステム  
繰上償還

Ver.2 稼動開始  
→ 償却発生

生鮮MD  
システム

投資開始

稼動開始  
減損処理

投資  
(店舗発注  
システム)

投資  
(機能追加)

・新システム稼動開始  
・サーバ増設  
→ 償却発生

※. イーサポートリンクシステムの“サブシステム”においては、随時開発→稼動→償却発生

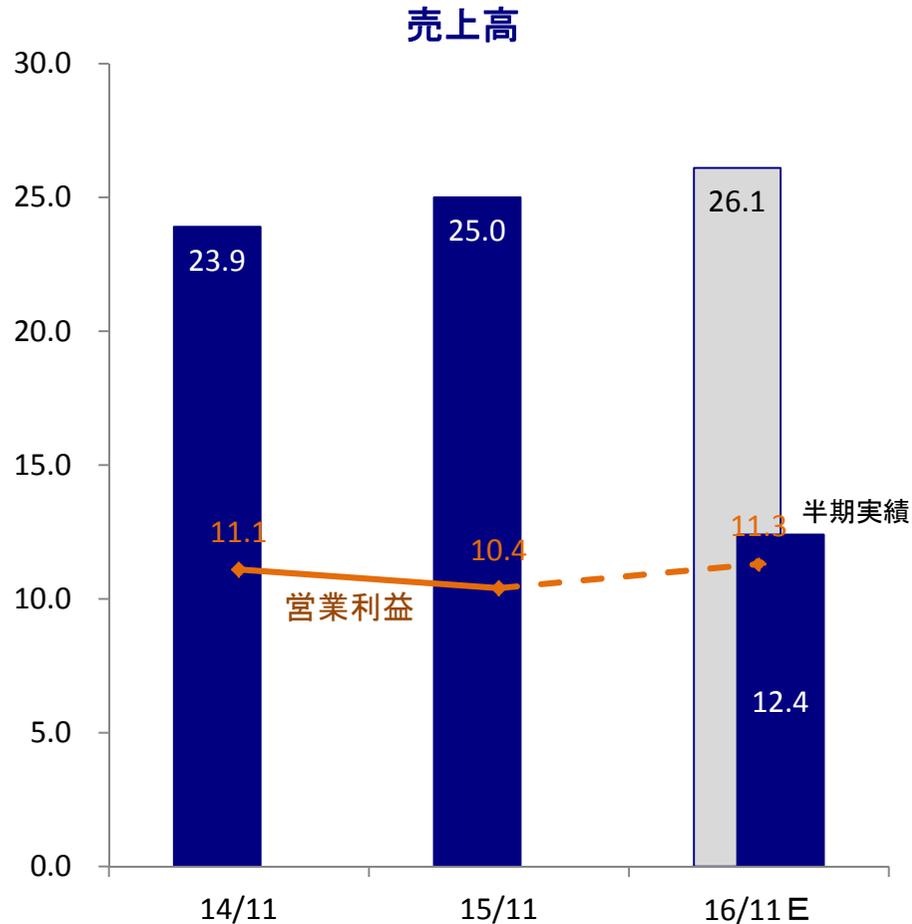
※. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 - 減損損失

# — セグメント別事業展開 —



# システム事業

(億円)



## ◆ 16/11期上期の概況

- ・ 生鮮MDシステムのデータ件数が増加した

## ■ 16/11期の見通し

- ・ イーサポートリンクシステムVer. 2の稼働
- ・ 主要クライアント企業の安定運用に注力
- ・ 新規顧客への導入により、売上増加を見込む

	14/11	15/11	16/11E
売上高	23.9	25.0	26.1
営業利益	11.1	10.4	11.3

※ 売上高には内部売上高が含まれる

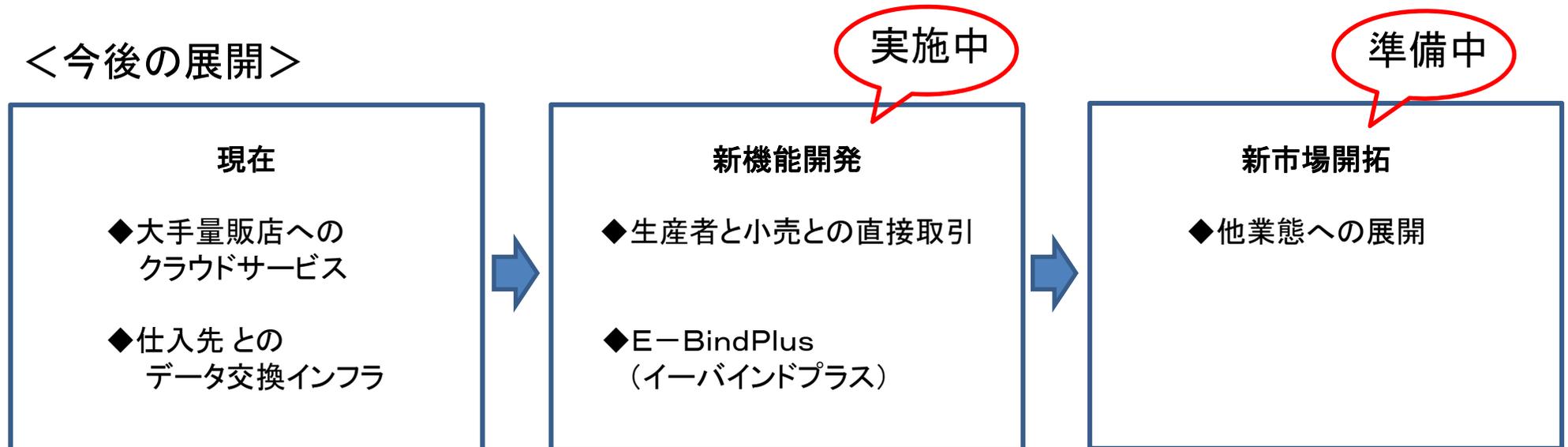
※ 16/11期より組織変更に伴い一部を全社費用に修正

## イーサポートリンクシステムVer.2の稼働、 生鮮MDシステムの稼働率アップを目指す

<上半期実績>



<今後の展開>



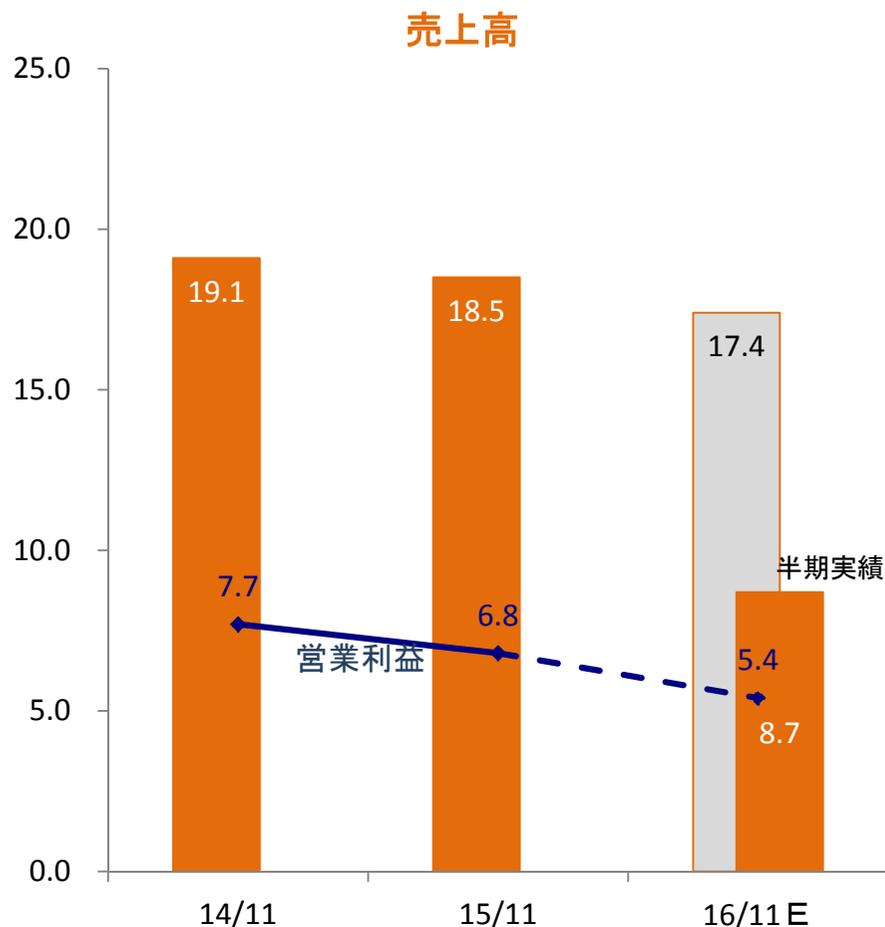
●生産者と小売との直接取引 : 大手量販店と下期にテスト運用を実施後、順次導入予定。

●E-BindPlus : 順次、切り替えを実施中(小売 52社、取引先 79社) 引き続き切替実施。



# 業務受託事業

(億円)



## ◆ 16/11期上期の概況

- ・ 主要クライアント企業の取り扱い商品の見直し、絞込みにより、業務受託量が減少

## ■ 16/11期の見通し

- ・ 引き続き、主要クライアント企業の取り扱い商品の見直し、絞込みにより、業務受託量が減少すると見込む
- ・ イーサポートリンクシステムVer. 2の稼動に伴い初期費用がかさむ
- ・ 主要顧客との関係強化と生産性の維持で安定した収益を確保

	14/11	15/11	16/11E
売上高	19.1	18.5	17.4
営業利益	7.7	6.8	5.4

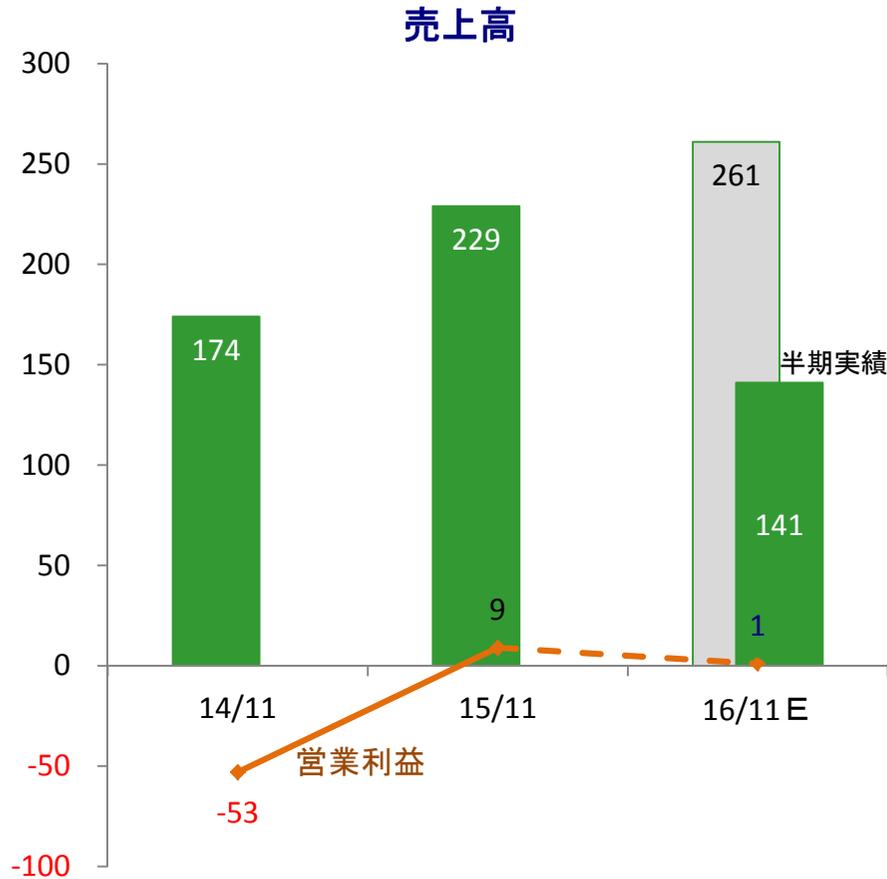
※ 売上高には内部売上高が含まれる

**付加価値をつけ、  
顧客満足度の向上に取り組む**



**農産物販売事業**

(億円)



## ◆ 16/11期上期の概況

- ・取扱数量が前年を上回り、売上高が順調に拡大

## ■ 16/11期の見通し

- ・新規組合員の増加と関係性の強化、集荷数量の増強を図る
- ・りんごの受託数／販売数の拡大に努め、恒常的な黒字化を実現

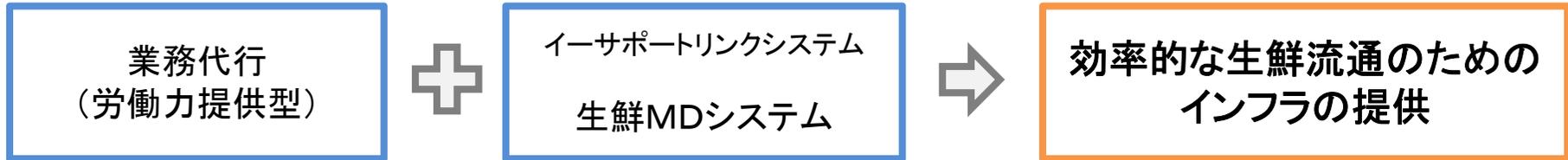
	14/11	15/11	16/11E
売上高	174	229	261
営業利益	△ 53	9	1

※ 売上高には内部売上高が含まれる

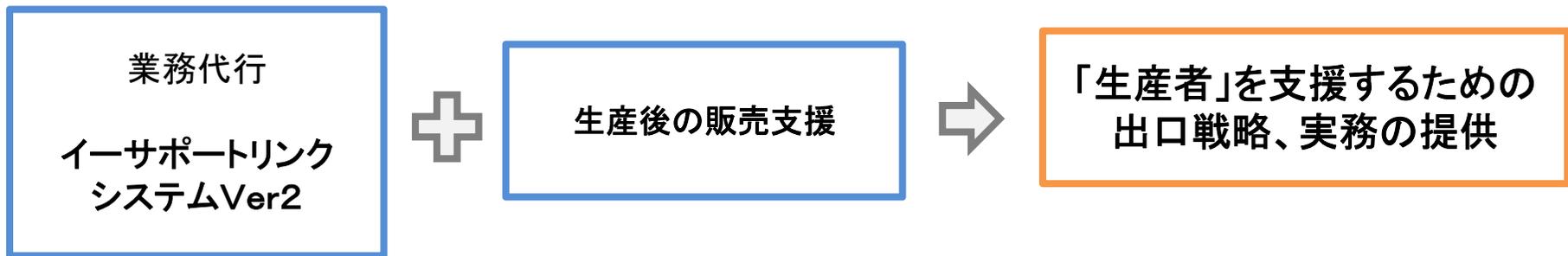
**安定的な集荷体制の確立と  
収益力の改善に取り組む**

# 《 中長期的な成長戦略 》

《現在 業務代行とシステムを組み合わせた、中間流通向けオペレーションサービス》



《戦略1 小売との直接取引など、生産者のための農産物流通の支援と構築サービス》



《戦略2 生産情報をリアルタイムで収集し、加工し、提供するデータベースサービス》



リアルタイムの生産情報は、一般生活者を始め、資材、肥料、農薬、外食、小売、物流、などの各業界が活用できます。

農業生産法人  
専業農家

マーケット関係者



生産者が農産物を直接、小売等に販売するには、出口戦略が必要

当社は、生産後に必要な事務処理等をすべて請け負うことができ、生産者が生産に専念できる



データベースビジネスモデルの展開

【生産者】

- ・栽培履歴
- ・収穫予定
- ・圃場状態
- その他



【利用者】

- ・農薬・資材
- ・販売実績
- ・相場情報
- その他



生産履歴DB



リアルタイム生産データの提供

農薬  
メーカー

肥料  
メーカー

種苗  
メーカー

小売り  
量販店

外食産業

....

生活者

# 参考資料

設立： 1998年10月

上場： 2006年 8月 (JASDAQ市場スタンダード)

決算期： 11月30日

資本金： 2,721百万円 (16/11上期末)

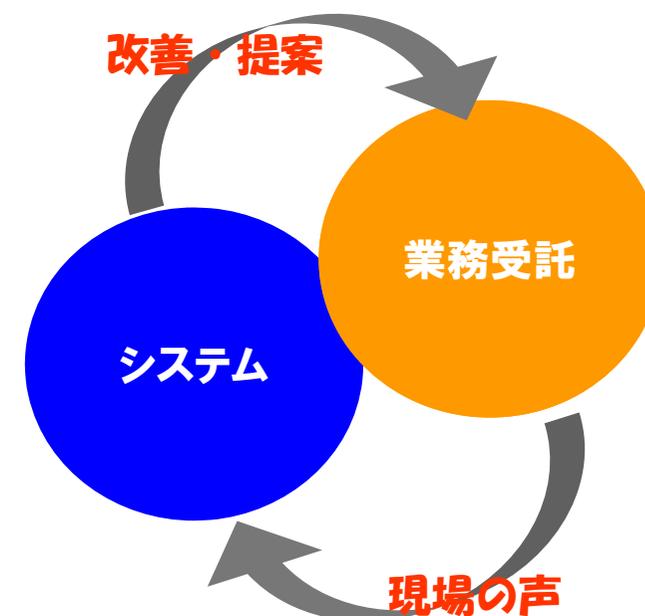
代表者： 代表取締役社長 堀内 信介

本社所在地： 東京都豊島区高田 2-17-22  
(事業所： 札幌／名古屋／神戸／福岡)

従業員数： 連結： 228名 / 個別： 221名 (16/11上期末)  
〔 他、臨時従業員数 (派遣社員、契約社員 他) 〕  
連結： 87名 / 個別： 68名

事業内容： 生鮮流通に関わるシステムおよび  
業務受託サービスを提供

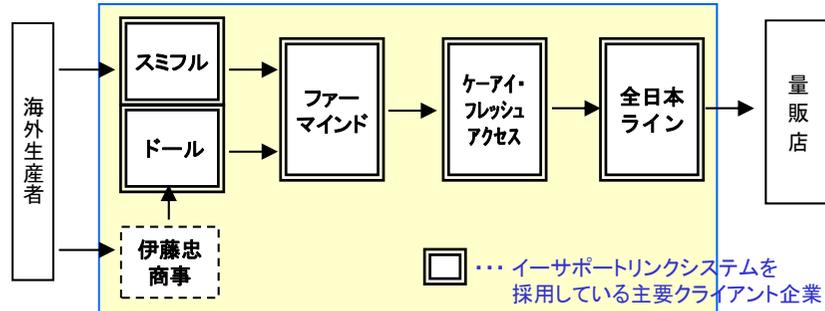
システムと業務受託を併せ持つことが  
他社に真似のできない  
当社の強み！



## システム事業

### イーサポートリンクシステム

サプライチェーンを構成するクライアント企業の堅実な事業をベースに収益を確保

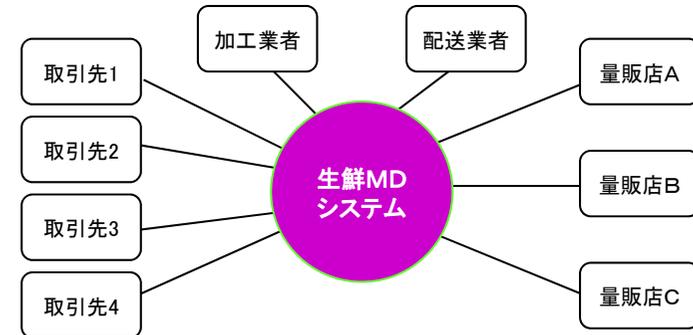


**トランザクション件数に応じて従量課金**  
(システム上に発生する件数)

## システム事業

### 生鮮MDシステム

小売・量販店とその取引先、仕入先をはじめ、流通に携わる全ての方が使用  
農産物にとどまらず、水産、畜産\*、デイリー、デリカ、グリナリーにも展開



- ① システム使用料 (トランザクション件数) : 1メッセージあたりに従量課金
- ② ID取得・使用料 : 1IDに対して課金

\* デイリー: 豆腐、納豆、乳製品など / デリカ: 弁当、惣菜 / グリナリー: 花卉、植物

## 業務受託事業

### 業務受託 (BPO)

生鮮青果物流通に携わる、どの業種の人達にもBPOの提供が可能

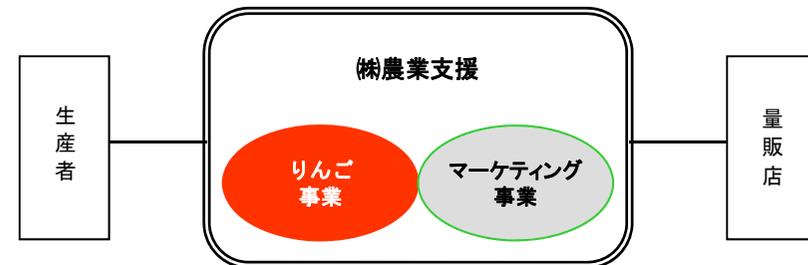


それぞれの業務代行の一取り引きに対して従量課金

## 農産物販売事業

### 子会社: (株)農業支援

マーケティングを通じて、量販店等への販路を拡大



りんご事業 : 受託販売手数料と販売収入

## 本資料における注意事項

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

〈本資料ならびにIR関係についてのお問い合わせ先〉

イーサポートリンク株式会社      IR担当  
TEL : 03-5979-0666      /      Email : IR@e-supportlink.co.jp